

# 2022 年度 事業報告および決算

## 1. 調査研究、2. 情報発信

### (1) 高度外国人材(外国人留学生等)および特定技能外国人労働者の受入

#### (a)外国人留学生と留学生OB、企業との情報共有の場の構築

1) 地元大学、留学生を採用した企業と連携し、「外国人留学生と留学生OBとの意見交換会」の開催

2) 外国人留学生就職に関する「シンポジウム」の開催

#### (b)留学生受入れに関する情報収集・情報発信

・企業からの情報収集(留学生OBの状況、企業側のキャリアビジョン、採用・育成方針等)、Warm TOPIC 等を通じての情報発信

#### (c)北陸未来共創フォーラム(会長:北経連会長、事務局:金沢大学)の「人材流入・地域定着分科会」への参画

#### (d)特定技能外国人労働者に関する情報収集・情報発信

| 実施内容   | 効果の確認・評価  |
|--|---|
| <p>(a)-1)外国人留学生と留学生OBとの意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主 催:「北経連」「北陸AJEC」「北陸未来共創フォーラム」</li> <li>・テーマ:「北陸の企業に就職した留学生の就活のコツ」</li> <li>・日時:8月10日(水)13:30~16:00</li> <li>・場所:金沢ニューグランドホテル</li> <li>・出席者           <ul style="list-style-type: none"> <li>○外国人留学生(富山大学、金沢大学、北陸先端大、北陸大学、金沢星稜大学、福井大学 6大学)</li> <li>○留学生OB(地元11企業等)               <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;富山県&gt;(株)小矢部精機、五洲薬品(株)、(株)新日本コンサルタント、YKK(株)</li> <li>&lt;石川県&gt;(株)金沢アドベンチャーズ、(株)東振精機、(株)のうか不動産、北菱電興(株)</li> <li>&lt;福井県&gt;越前町教育委員会、(株)TOP、日華化学(株)</li> </ul> </li> <li>○出席大学事務局、出席留学生OB企業関係者</li> </ul> </li> <li>・コーディネーター           <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅原行政書士事務所 申請取次行政書士 菅原 純平 氏</li> <li>・金沢大学 国際機構 准教授 佐藤 智哉 氏</li> </ul> </li> <li>・形式:オンライン併催</li> <li>・出席者:80名(会場56名、オンライン24名)</li> <li>・Warm TOPIC 168号に「開催報告」掲載</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生からは、「留学生の評価ポイント、留学生に期待される点」等について質問があり、留学生OB、企業からは、「何事にもくじけない突破力・積極性」、「社内での積極的なコミュニケーション力」そして「海外との懸け橋となってくれることに期待していること」など丁寧な回答があった。</li> <li>・終了後のアンケートでは、大学事務局より「企業と留学生OBの意見を聞くことができ、留学生にも大変参考になったと感じた」といった好意的な意見があった。</li> <li>・一方で、留学生からは「もっと領域を広くして企業を紹介してほしい」との要望や、会員企業からも「より多くの留学生の方に会うことができる」との意見があった。(領域の拡大、より多くの企業の参加)</li> <li>・留学生の北陸企業への就職に、よりつながっていく方策の検討等が必要。(外国人材採用をしていない企業も容易に参加できる形式の交流会等)</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
| <p>(a)-2)外国人留学生採用に関するシンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「外国人留学生の魅力と企業の成長」</li> <li>・日時：10月31日（月）13：30～16：20</li> <li>・場所：金沢ニューグランドホテル</li> <li>・プログラム</li> </ul> <p>第1部 基調講演「外国人留学生の採用と活躍について」<br/>   亜細亜大学 アジア研究所 教授 九門 大士 氏</p> <p>第2部 留学生採用企業より報告（留学生の活躍状況等）<br/>   (株)小矢部精機 谷口 陸世 氏、<br/>   北菱電興(株) 谷 英恵 氏、<br/>   日華化学(株) 今井 貴史 氏</p> <p>第3部 パネルディスカッション（以下、パネリスト）<br/>   (株)小矢部精機 谷口 陸世 氏、<br/>   北菱電興(株) 酒元 一幸 氏、<br/>   日華化学(株) 今井 貴史 氏<br/>   コーディネーター 亜細亜大学 教授 九門 大士 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形式：オンライン併催、</li> <li>・出席者：58名（会場25名、オンライン33名）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後のアンケートでは、企業より「外国人を採用している会社から初めて採用した会社まで多様な意見を聴くことができ、外国人採用にまつわる様々な視点での問題点や課題を知ることができた」など、参考になったとの意見を多くいただいた。</li> <li>・また、企業からは「将来、当社でも外国人留学生の採用が実現する可能性を感じた」と留学生採用に向けての第一歩となる意見もいただいた。</li> <li>・シンポジウム開催により、留学生採用の機運醸成、底辺拡大につながっているものと思われる。</li> <li>・今後とも、留学生未採用の企業に多数参加いただけるような形での行事等を開催し、採用企業の底辺拡大を図っていくこととしたい。</li> </ul> |
| <p>(b) Warm TOPIC で留学生OBに関する記事を掲載</p> <p>○Vol. 165(5/6月号)<br/>   日華化学(株) 兪 鋳氏(ユ カイ) 氏 中国 富山大学卒</p> <p>○Vol. 166(7/8月号) 越前町教育委員会<br/>   MOHD SYAIRIR BIN ABD MALE 氏 マレーシア 福井大学卒</p> <p>○Vol. 167(9/10月号)<br/>   (株)TOP 王 驍(オウ ギョウテイ) 氏 中国 足利大学卒</p> <p>○Vol. 168(11/12月号) (株)新日本コンサルタント<br/>   Mitzi Alia Rifanisa 氏 インドネシア 京都大学卒</p> <p>○Vol. 169(2023年1/2月号) 朝日印刷(株)<br/>   Lee Chi Yan (リーチーヤン) 氏 マレーシア 富山大学卒</p> <p>○Vol. 170(3/4月号)<br/>   五洲薬品(株) 宋 権宮 氏 台湾 東京工科大学大学院修了</p> <p>■過去に Warm TOPIC にて掲載した留学生OB記事を集合冊子化（8月 特別号発行）</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生OB記事の継続掲載が必要。</li> <li>・留学生採用企業について、いろいろなソースを活用し（新聞等マス媒体、他団体からの情報等）、新規発掘を目指す。</li> <li>・セミナー、シンポジウム等で配布するなどし、留学生採用の好影響、好事例について理解浸透を図っていききたい。</li> </ul>   |

|  |   |
|--|---|
| <p>(c) 北陸未来共創フォーラム、経済産業省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度外国人材活躍促進に関する事業（外国人留学生関連事業）については、今年度(2022年度)、北陸地域の産学官金プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」（人材流入・地域定着分科会 WG 2）の事業として位置付けてきた。</li> </ul> <p>■11月2日 「北陸未来共創フォーラム 人材流入・地域定着分科会 WG 2」（通称：留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」）第1回ミーティング</p> <p>&lt;議題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経産省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」について</li> <li>令和4年度開催イベントについて <ul style="list-style-type: none"> <li>経産省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」キックオフイベント <p>日時：12月8日（木）10:00～12:00</p> <p>場所：金沢商工会議所 1F ホール</p> </li> </ul> </li> <li>外国人留学生北陸3県合同企業説明会 <p>日時：12月8日（木）13:30～16:00</p> <p>場所：金沢商工会議所 2F 研修室</p> </li> </ul> <p>■2023年2月27日 同上 第2回ミーティング</p> <p>&lt;議題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 WG 2 活動実施報告</li> <li>令和5年度 事業計画（案） <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸未来共創フォーラム 人材流入・地域定着分科会 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト 「Link KAGAYAKI」コンソーシアム</li> <li>経済産業省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」北陸コンソーシアム</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>来年度(2023年度)は、「北陸未来共創フォーラム」（人材流入・地域定着分科会 WG 2）と、経済産業省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」とが連携して、北陸地域の高度外国人材事業を展開していく予定。</li> <li>当会の、来年度(2023年度)高度外国人材活躍促進に関する事業は、上記2つのプラットフォームの中で、北陸地方における地域連携を図りながら、進めていきたい。</li> <li>令和5年度経産省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人留学生採用セミナー&amp;外国人留学生との交流会（当会からの提案事業）</li> <li>合同企業説明会、マッチングイベント</li> <li>企業理解・地域理解を盛り込んだキャリア形成プログラム</li> </ul> </li> <li>当会から提案した「外国人留学生採用セミナー&amp;外国人留学生との交流会」について了承。</li> <li>今後、関係機関・団体等と連携して取り組む。</li> </ul> |
| <p>(d) 特定技能外国人労働者に関するセミナー（オンライン併催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時：11月28日（月）15:00～16:00</li> <li>場所：金沢ニューグランドホテル</li> <li>講演「特定技能外国人急増の背景と北陸での受け入れ事例」<br/>菅原行政書士事務所 申請取次行政書士 菅原 純平 氏</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>会員企業への特定技能外国人労働者への理解促進を図っていく。</li> </ul>   |

## (2) 海外現地情勢報告セミナー

| 実施内容  | 効果の確認・評価   |
|---|--|
| <p>・ 第一回セミナー<br/>           日 時：7月11日（月）13：00～15：00<br/>           参加者：88名（オンライン）<br/> <b>【演題】「タイの最新情勢とビジネスの展望」</b><br/>           &lt;第一部&gt;「政治経済情勢」<br/>               住友商事グローバルリサーチ株式会社<br/>               国際部シニアアナリスト 石井 順也 氏<br/>           &lt;第二部&gt;「社会経済情勢の変化を踏まえた企業の動向と<br/>           今後のビジネス展望」<br/>               タイ住友商事会社 社長 福田 康 氏<br/> <b>【演題】「インドネシアビジネスの可能性」</b><br/>           &lt;モデレーター&gt;丸紅インドネシア会社 取締役財務担当役員<br/>               BA グループ長 中野 耕次 氏<br/>           &lt;冒頭挨拶&gt; 丸紅株式会社北陸支店 支店長 大西 英一 氏<br/>           &lt;第一部&gt;「インドネシアにおけるヘルスケア・メディカル<br/>           事業の取組みと今後の展開」<br/>               丸紅インドネシア会社 次世代事業開発部<br/>               部長 徳井 健次 氏<br/>           &lt;第二部&gt;「MM2100 工業団地について」<br/>               PT. MegalopolisManunggalIndustrialDevelopment<br/>               社長 須藤 一夫 氏</p> <p>・ 第二回セミナー<br/>           日時：10月25日（火）13：00～15：00<br/>           参加者：65名（オンライン）<br/>           1. 「ベトナムに対する期待と現状認識のギャップについて」<br/>               北陸銀行 ホーチミン駐在員事務所 所長 山田 太一 氏<br/>           2. 「進出企業の最新動向と抱える課題」<br/>               福井銀行 バンコク駐在員事務所 所長 木田 浩久 氏<br/>           3. 「シンガポールに学ぶリスクリングによる生産性向上策」<br/>               CC INNOVATION SINGAPORE Managing Director 中村 彰秀 氏</p> <p>・ 第三回セミナー<br/>           日 時：2023年3月24日（金）16：30～17：30<br/>           参加者：54名（ハイブリッド形式）<br/>           「サプライチェーンの多様化と成長する東南アジア」<br/>               日本経済新聞社 国際報道センター<br/>               Nikkei Asia グループ 岩本 健太郎 氏</p> | <p>・ アンケート調査結果を取り纏めた上で、住友商事、丸紅、並びに本セミナー関係者に報告済み。「大変参考になった」「参考になった」との回答が太宗であった。社会経済情勢の変化を踏まえた動向を把握でき、質疑応答では専門家・現地駐在員ならでの貴重な回答が得られ、大変有意義な機会であったと評価。</p> <p>・ アンケート調査結果を取り纏めた上で、登壇企業、及び本セミナー関係者に報告済み。いずれの演題も「大変参考になった」、「参考になった」との回答を得た。特に、現地ならではの最新情報、金融機関として現地進出企業に提供できるサービス及びサポート体制が明示され有意義であったと評価。</p> |

### (3) 機関誌 Warm TOPIC の発行実績

| 実施内容   |
|--|
| <p>○Warm TOPIC 5/6月号 (Vol.165)</p> <p>・寄稿<br/>「大接戦となった韓国大統領選と新政権の行方」 日本貿易振興機構(ジェトロ) 海外調査部 百本 和弘<br/>「日本の国際競争力と高度外国人材・留学生 ～日本はなぜ外国人材の活用が遅れているのか～」<br/>福井県立大学 地域経済研究所 池下 譲治</p> <p>・定例報告<br/>「日中観光代表者フォーラム及び伝統文化プロモーション」 石川県 上海事務所 大川 賢誠<br/>「～シンガポールにおけるSMSフィッシング詐欺事情など～」<br/>北陸銀行 シンガポール駐在員事務所 上原 清志<br/>「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 日華化学株式会社 兪 鋳<br/>「2021年 北陸の港湾貨物取扱量実績」 北陸 AJEC</p>                    |
| <p>○Warm TOPIC 7/8月号 (Vol.166)</p> <p>・寄稿<br/>「タイ自動車市場でプレゼンス高める中国系自動車メーカー」<br/>ジェトロバンコク・バンコク研究センター(BRC) 川田 敦相<br/>「貿易自由化と道路網の整備で急成長するメコン川流域の新興経済圏～30年を迎えた大メコン圏開発～」<br/>読売新聞元アジア総局長 神戸大学 深沢 淳一</p> <p>・定例報告<br/>「中国上海市におけるロックダウン(2022年4月)」 福井県 上海事務所 白崎 和弥<br/>「タイ介護事情と福井県の取り組み」 福井銀行 バンコク駐在員事務所 刀称 輝<br/>「北陸自治体で活躍する留学生 OB 紹介」越前町教育委員会 モハマド シャイルル ビン アブデウル マレック<br/>「2021年度 北陸の空港利用状況」 北陸 AJEC</p> |
| <p>○Warm TOPIC 9/10月号 (Vol.167)</p> <p>・定期総会<br/>会長挨拶、中部経済産業局長挨拶、2022年度事業計画</p> <p>・北陸 AJEC 創立 30 周年記念講演録<br/>「現下の世界情勢と日本外交」 キヤノングローバル戦略研究所 宮家 邦彦</p> <p>・寄稿<br/>「日系小売企業の国際展開と撤退—ミニストップの事例研究—」 富山大学 経済学部 鳥羽 達郎</p> <p>・定例報告<br/>「変わりつつある中国のコロナ対応状況 (2022年6月末時点)」 富山県 大連事務所 川田 拓磨<br/>「タイにおけるスタートアップについて」 Thai CC Innovation Co.Ltd. 滝沢 悠平<br/>「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 株式会社TOP 王 驍騁 (オウ ギョウテイ)</p>     |
| <p>○Warm TOPIC 11/12月号 (Vol.168)</p> <p>・寄稿<br/>「経済安全保障を巡る最近の内外の動きと日本企業への影響」<br/>一般財団法人安全保障貿易情報センター(CISTEC) 押田 努<br/>「望まれる人財育成投資と付加価値の量的・質的拡大—北陸地域の「稼ぐ力」の向上に向けて—」<br/>福井県立大学 地域経済研究所 杉山 友城</p>   |

・開催報告

「外国人留学生と留学生 OB との意見交換会」北陸 AJEC

・定例報告

「シンガポールでの販路開拓プロモーションについて」石川県 シンガポール事務所 濱家 大士

「ホーチミンの孤児院を訪れて」北陸銀行 ホーチミン駐在員事務所 山田 太一

「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」

株式会社新日本コンサルタント Mitzi Alia Rifanisa (ミティ アリア リファニサ)

○Warm TOPIC 1/2 月号 (Vol.169)

・寄稿

「第 20 回党大会から読み解く習近平新体制」

防衛大学校 人文社会科学群 国際関係学科 佐々木 智弘

「地域レベルの継続的スキル養成の潮流と課題」

地域コンソーシアムによる「共創型企業・人材展開プログラム」事業を事例として

金沢星稜大学 経済学部 経営学科 神崎 淳子

・開催報告

「外国人留学生採用に関するシンポジウム」北陸 AJEC

・定例報告

「コロナ禍明けの台湾の今とこれから」富山県 台北ビジネスサポートデスク 平川 正紘

「中国のフードデリバリー業界について」北國銀行 上海駐在員事務所 岩井 貴嗣

「北陸三県企業の海外進出状況」北陸 AJEC

「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」朝日印刷株式会社 Lee Chi Yan (リーチャーヤン)

○Warm TOPIC 3/4 月号 (Vol.170)

・寄稿

「海外進出日系企業の活動状況とサプライチェーンの変化」ジェトロ海外調査部 伊藤 博敏

「ASEAN 域内・域外貿易の現状と AEC (ASEAN 経済共同体)」

福井大学 大学院 国際地域マネジメント研究科 谷口 成伸

・定例報告

「中国経済の動向と北陸フェア」石川県 上海事務所 湊 理央

「最近の大連のサッカー熱」北陸銀行 大連駐在員事務所 田村 昌邦

「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」五洲薬品株式会社 宋 権宮

・開催報告

「日本・タイ王国 第 22 回お互いフォーラム in 七尾」北陸 AJEC

### 3. 国際交流事業

#### (a) ASEAN 諸国

1) ベトナム政府高官との経済交流会議の開催

2) インドネシア行政官の北陸企業視察支援、及び懇談会の開催

※両国とも政策研究大学院大学 (GRIPS) が JICA 事業の一環として実施予定

3) その他関係団体との連携

タイ : 「お互いフォーラム協会」主催シンポジウム、懇談会、並びにセミナー開催支援

ベトナム : 「北陸ベトナム相互企業進出促進協会」主催の海外視察、セミナー開催支援

| 実施内容   | 効果の確認・評価  |
|--|---|
| <p>(a)-1) ベトナム政府高官訪日は JICA とベトナム政府間の協議の結果、短期研修（約 20 名、10 日間）は実施せず、来年度以降に再開することが決定。一方、中期研修（3 カ月）は今年度中に再開することとなり、2022 年 8 月下旬～9 月上旬に人選の上、10 月～12 月に研修生（最大）5 名が訪日予定。局長・次局長級が中心で人数も限定的であることから、経済交流会議ではなく、研修生の所属機関や研究分野で関心のある取り組み等を関係者間で協議の上、北陸地域の企業視察や意見・情報交換会を設定予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福井県との経済懇談会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日 時： 12 月 15 日（木）14：30 ～ 17：30</li> <li>・ 参加者： ベトナム行政官 5 名、GRIPS 工藤教授以下 3 名、事務局 2 名</li> <li>・ 内 容： <ol style="list-style-type: none"> <li>① 産業労働部長表敬</li> <li>② プレゼン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テクノポート福井について … 公営企業課</li> <li>・ 福井港の概要 …………… 土木部港湾空港課</li> <li>・ 企業誘致について …………… 企業誘致課</li> </ul> </li> <li>③ 福井港、テクノポート福井、並びに新分譲地視察</li> <li>④ 質疑応答、意見・情報交換</li> </ol> </li> </ul> </li> </ul> <p>(a)-2) インドネシア行政官 2 名は以下日程で産業視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月 29 日（月）：日華化学株（イノベーションセンター視察）</li> <li>・ 8 月 30 日（火）：津田駒工業株（インドネシア市場での繊維機械事業の取り組み紹介、炭素繊維複合材製品の紹介、本社工場・ショールーム視察）</li> <li>・ 8 月 31 日（水）：富山市都市計画課、スマートシティ課（行政官によるジャカルタの公共交通指向型都市開発の現状、課題を説明後、都市計画課より富山市事例説明、スマートシティ課よりスマートシティ構想に関する情報を提供の上、意見・情報交換、並びに富山市内交通網視察）</li> </ul> <p>(a)-3)</p> <p>タイ：「第 22 回 日本・タイお互いフォーラム in 七尾」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日時： 2023 年 2 月 2 日（木）、13：00～17：30</li> <li>・ 会場： 矢田郷地区コミュニティセンター多目的ホール</li> <li>・ 参加者： 約 320 名（日本側 120 名、タイ側 200 名）</li> <li>・ 形式： ハイブリッド開催</li> <li>・ プログラム： <ol style="list-style-type: none"> <li>① タイ・ASEAN への能登産品の海外販路開拓 金沢大学産学融合研究会</li> <li>② 基調講演：タイ側ニーズ発表（BCG/バイオ・サーキュラー・グリーン）</li> </ol> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施設の開発の背景・経緯、企業立地状況、環境対策、現状と課題、並びに将来展望関連説明に対し、ハノイ市、ホーチミン市、並びに中部ダナン市経済特区、並びに投資促進センター所属の幹部より多数の質問があり、活発な情報・意見交換を実施済み。</li> <li>・ 帰国後には、引き続き、当県と情報・意見交換を継続したい旨の申し出あり。今回の経済懇談会、及び施設視察は限られた時間ではあったものの、双方にとって大変意義ある貴重な機会であったと評価。</li> <li>・ 小規模な開催であったものの、いずれの視察先においても活発で踏み込んだ質疑応答が熱心になされ、会員企業、インドネシア行政官双方にとって意義深い貴重な機会であったと評価。</li> </ul> <p>開催成果・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 石川県とタイ王国工業省間の経済協力の覚書締結</li> <li>2) 七尾市とタイ王国工業省間の経済協力の覚書締結</li> <li>3) 金沢大学、金沢工業大学(革新複合材料センター)、並びにタイ王国工業省間の技術開発協力の覚書締結</li> </ol> |

| 実施内容  | 効果の確認・評価  |
|---|---|
| <p>タイ工業省総監 パソコン・チャイラット 氏</p> <p>③ 炭素繊維複合材バリューチェーン構築<br/>パネルディスカッション タイ工業省/ 金沢工業大学<br/>ICC/ 金沢大学産学融合研究会</p> <p>④ タイ工業省重要政策 BCG 経済への日タイ協力<br/>タイ工業省/会宝産業(株)/七尾商工会議所/<br/>金沢大学産学融合研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主 催：タイ王国公益法人お互いフォーラム<br/>(タイ王国工業省所管法人)</li> <li>・共 催：北陸経済連合会/北陸 AJEC</li> <li>・後 援：石川県/七尾市/七尾商工会議所/一般社団法人な<br/>お・なかのと DM0/一社)七尾青年会議所/七尾市国<br/>際交流協会/一社)能登半島広域観光協会</li> <li>・協 力：YATAGOU ビレッジセカンド大学<br/>(矢田郷地区まちづくり協議会)</li> <li>・主 管：一般社団法人きたまえ JAPAN/<br/>金沢大学産学融合研究会</li> </ul> <p>(計画外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月26日開催の JICA 主催「日本式経営を实践する Vietnam<br/>ホーチミン企業経営者とのビジネス交流会 in 金沢」に当協<br/>会、及び北陸 AJEC と共に共催。ホーチミン市経営者・幹部<br/>25社(38名)、北陸企業約50名が参加。ベトナム企業経営<br/>者とのビジネスネットワーキングを希望する企業が参加し、<br/>活発な質疑応答がなされた。</li> </ul> <p>■第6回「北陸ベトナム相互企業進出促進協会」総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：12月26日(月)、15:30～18:00</li> <li>・場 所：金沢ニューグランドホテル 3階 パラッツオ</li> <li>・参加者：24名</li> <li>・議 題： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 開会挨拶 北陸ベトナム相互企業進出促進協会<br/>会長 三谷 充 氏</li> <li>(2) ご挨拶 在大阪ベトナム総領事館 臨時総領事<br/>レ・フィ・ホアン 氏</li> <li>(3) 講演会 「ベトナム人と造り上げる世界最高峰の<br/>精密ものづくり」(株)小金井精機製作所<br/>代表取締役社長 鴨下 祐介 氏</li> <li>(4) 事務局報告</li> </ul> </li> </ul> | <p>4) 日系海外進出企業、きたまえ<br/>JAPAN、並びに金沢大学産学融<br/>合研究会間のタイを中心とし<br/>た ASEAN 諸国への海外販路拡<br/>大、及び学生インターン派遣<br/>合意</p> <p>5) 当会会員企業関連の<br/>プレゼン：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢工業大学革新複合材料<br/>センターの取り組み</li> <li>・(株)スギヨと金沢大産学融合<br/>研究会間の連携事業、及び<br/>当社商品の試食会</li> <li>・会宝産業(株)の使用済自動車<br/>の漁礁プロジェクト</li> <li>・七尾商工会議所/金沢大学推<br/>進中の能登の地域通貨<br/>「SATO (サト)」事業</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両国がコロナ禍から回復を目<br/>指す中、持続可能な商品・サ<br/>ービス開発を推進する、共創<br/>型販路開拓の方向性を確認、<br/>タイと北陸地域間の産官学間<br/>での経済連携を一步前進させ<br/>た大変有意義な機会と評価。</li> <li>・当協会三谷会長は北陸地域企<br/>業とベトナム企業との相互発<br/>展を期待する旨、一方、在大阪<br/>ベトナム総領事館臨時総領事<br/>は本協会が北陸とベトナムの<br/>関係構築・強化に尽力している<br/>ことに謝辞を表明。</li> <li>・講演では、当社工場現場と会場<br/>をオンライン配信の上、ベトナ<br/>ム人従業員と共に働く日本人<br/>指導員からベトナム人従業員<br/>の魅力、能力、人材育成、並び<br/>に日々のコミュニケーション<br/>方法を具体的事例に基づき発<br/>信。</li> </ul> |



| 実施内容 | 効果の確認・評価  |
|------|---|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人従業員の雇用、人材育成、並びに労務管理等に関し、外国人従業員をかかえる、或いは採用予定のものづくり中小企業にとっては経験に基づく、示唆に富む有益な講演であったと評価。</li> </ul> |

## (b) 韓国

### 1) 北陸・韓国経済交流会議の開催の検討

- ・環境が整った時点で韓国側と協議の上、具体的な実施案を慎重に検討

### 2) 第 54 回 日韓経済人会議（5 月 30 日）への参加

### 3) 「日韓次世代人材・チャレンジフォーラム～北陸地域若手人材と韓国若手人材による課題検討会～」をオンライン形式で開催検討

## (c) 海外経済視察ミッション派遣の検討

- ・アフターコロナを見据え、実施時期、訪問国・地域、参加メンバー構成、視察先等、実施要領を検討

| 実施内容  | 効果の確認・評価  |
|---|---|
| <p>(b)-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記要領にて韓国側窓口である韓日経済協会、及び韓日産業・技術協力財団とオンライン会議を開催済み。</li> <li>・日 時：2023 年 3 月 6 日（月）14:00～15:00</li> <li>・参加者：趙徳卯（チョ・ドクミョ）韓日経済協会事務局長<br/>李裕卿（イ・ユギョン）韓日経済協会 課長<br/>金槿泰（キム・グンテ）韓日経済協会 研究員<br/>劉崇勳（ユ・スンフン）韓日産業・技術協力財団室長<br/>北陸 AJEC 事務局</li> <li>・議 題：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本会議に対する双方の現状、認識</li> <li>(2) 北陸 3 県、及び北経連／北陸 AJEC 会員企業の韓国進出状況、2022 年度北陸 AJEC の韓国関連事業報告</li> <li>(3) 今後の協議の方向性</li> <li>(4) 質疑応答&amp;フリーディスカッション</li> </ol> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・後述の「日韓次世代人材・チャレンジフォーラム」が成功裡に開催出来たことから、従来の大規模な経済交流会のような形式に拘らず、来年度開催については韓国側関係者も含め、慎重に検討予定。</li> <li>・2018 年 8 月の第 19 回の福井市での開催以降、日韓関係に鑑みて開催が見送られたことから、韓日経済協会では本会議再開に向けた予算確保、関係自治体との協議等が必要な状況。</li> <li>・日韓地域間交流を先導する北陸との交流が再開され、両地域の経済発展に寄与していくことが大切であるとの認識を共有。</li> <li>・開催準備の一環として、当協会はじめ関係者と協議の上、再開に向けての体制整備を推進する。一方、当会会員企業のニーズをヒアリングの上、2024 年度開催実施に向けて、具体</li> </ul> |

| 実施内容  | 効果の確認・評価  |
|---|---|
| <p>(b)-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第 54 回日韓経済人会議（5 月 30 日）に出席。日韓間をオンラインにて繋ぎ開催。参加者は日本側 116 名、韓国側 163 名。「日韓経済連携の新たなステージ」をテーマとし、①経済連携の拡大、②相互交流の増進、③政府への期待を 3 本柱とした共同声明を採択。来年度は韓国で開催を確認し閉会。</li> </ul> <p>(b)-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10 月 21 日（金）に「日韓次世代人材・チャレンジフォーラム～北陸地域若手人材と韓国若手人材による課題検討会～」を懇親会も含め、対面に切り替え、開催済み。テーマは「北陸地域の企業と韓国企業の海外事業展開の現状と課題」とし、日本側から NICCA KOREA CO., LTD.、中村留精密工業(株)、ホクシヨー(株)、HOKUSHO KOREA CO., LTD.、(株)ほっとリハビリシステムズの 5 社（計 8 名）、韓国企業からは 12 社（13 名）に加え、江守国際委員会委員長、出石 NHK 解説主幹（司会）、マルチメディア振興センター三澤リサーチディレクター、日韓事務局 6 名、通訳 3 名の計 33 名が参加した。<br/>主催：日韓産業技術協力団・日韓経済協会<br/>共催：北陸経済連合会・北陸 AJEC</li> </ul> <p>(c)2023 年度実施に向けて、会員企業に 10 月に第一次事前調査アンケート（参加意向、時期、参加目的、視察先、業種等）、12 月に第二次事前調査アンケート（国・地域を選定の上、具体的訪問・視察先を深堀）を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8 月末から 9 月初旬、海外経済視察ミッションの検討の一環として、国際委員会の総合商社 6 社の委員に対して、第五次中期アクションプランに基づき、5 つのテーマ、視察目的、視察候補国等の素案を提示し、意見交換を実施済み。他方、北欧の在日各国大使館関係者との人的ネットワーク形成、及び関連情報収集するべく、フィンランド大使館商務部、ノルウェー大使館通商技術部、スウェーデン大使館経済貿易担当官、ジェットロ本部海外調査部欧州ロシア CIS 課へのヒアリングを実施済み。</li> </ul> | <p>的な実施案（形式・テーマ等）を慎重に検討の上、韓日経済協会と協議予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第 55 回 日韓経済人会議は 5 月 16 日（火）と 17 日（水）の両日、ソウル市にて開催予定。</li> <li>3 つのグループ会議、その後の全体討議では活発な意見、質疑応答が出されると共に、個社の知見・経験が共有され、現行事業の振り返り、リスクとその対応策を棚卸・整理する貴重な機会であった。加えて、対面での本フォーラム事業、懇親会を通じ、日韓企業を取り巻く内部・外部環境と両国での共通点、及び今後の海外事業展開に考慮すべき点を共有出来、更には、参加者間の人的ネットワークも形成されたと評価。</li> <li>引き続き、関連機関・団体へヒアリングを実施の上、来年度以降実施に向けて検討予定。</li> </ul> |

## 【参考】北陸経済連合会国際委員会 単独事業

○関西経済連合会主催「アジア・ビジネスプラットフォーム（ABCプラットフォーム）」への参画

※対象はASEAN7 各国（タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、ミャンマー）

- ・ASEAN 7 各国の経済団体との連携事業
- ・「ABCプラットフォーム」HP 上に「北陸のシェアトップ 150」の日本語版/英語版を掲載の上、引き続き、会員企業 ASEAN 企業とのマッチング実施を通じ、海外販路・顧客開拓を支援
- ・本 HP 上の「技術・商材」への会員企業掲載による ASEAN 企業とのマッチングを通じ、海外販路・顧客開拓を支援
- ・同プラットフォーム傘下スタートアップ部会主催の ASEAN 各国におけるスタートアップ企業との商談会を会員企業に紹介の上、商談会参加を通じ、海外販路・顧客開拓、及び新規事業創出を支援

| 実施内容  | 効果の確認・評価  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ABCプラットフォーム事業への参画を北経連トピックス、及び北経連 HP に掲載の上、周知・啓発を実施した。</li> <li>・ASEAN7 各国で製品 PR、及び新規市場開拓の為の事業開発パートナーの発掘・提携を支援するべく、新たに以下会員企業 2 社を「ABCプラットフォーム」HP 上の「技術・商材」に掲載済（累計 7 社）。<br/>（株）スギヨ、ホクショー(株)</li> <li>・以下当会行事の機会を捉え、関連資料を配付済み。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月24日 三県知事との懇談会</li> <li>・11月1日 会員懇談会石川会場</li> <li>・11月17日 第49回北陸地方経済懇談会</li> <li>・11月24日 会員懇談会福井会場</li> <li>・2月2日 会員懇談会富山会場</li> </ul> </li> <li>・ABCプラットフォーム第2回全体会議に現地、及びオンラインにて出席済み。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：2023年3月16日（木）全体会議 14:00～18:00<br/>レセプション 18:15 ～（シンガポール時間）</li> <li>・会 場：Singapore Manufacturing Federation (SMF)</li> <li>・形 式：オンライン併催</li> <li>・参加者：関西経済連合会 松本会長、各国経済団体代表（7 各国）以下現地参加 43 名（オンライン 39 名）</li> <li>・主 催：Singapore Manufacturing Federation (SMF)、公益社団法人 関西経済連合会</li> <li>・プログラム： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ABCプラットフォーム事業活動状況説明</li> <li>・各国経済団体が推薦する企業からのプレゼン</li> <li>・2025年万博のPR</li> <li>・ABCプラットフォーム事業に関する各国経済団体代表者による意見交換</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本プラットフォームを介した個別マッチングの面談機会やマッチング確度を高めるべく、引き続き、事務局との連携を強化しつつ、関連情報の収集・発信に努め、会員企業を支援予定。</li> <li>・ABCプラットフォーム事業を活用した、ビジネス創出の具体的な成果として「ABC CHALLENGE サポートプログラム」参加企業によるプレゼンテーション、及び各国関係機関代表による同事業の成果報告、及び意見交換を実施。</li> <li>・本総会後のレセプションでは、各国経済団体、及び日本側参加者間で対面交流が行われ、人的ネットワーキングが構築され、来年度以降、当会が海外関連セミナーを企画する際の海外の共催者を見出すことが出来、大変有意義な機会となったと評価。</li> <li>・引き続き、各国経済団体、及び同団体所属企業と当会会員企業間のマッチングの機会を創出するべく、当会会員企業を啓発しつつ、関経連と連携を図る。</li> </ul> |

○第2回北陸インド経済交流会議の開催の検討（主催：富山インド協会）

| 実施内容   | 効果の確認・評価  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>主催者と協議の結果、本年度はインド伝統文化関連事業を優先したい旨の意向を受け、本年度の経済交流会議の開催は見送ることとした。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>来年度開催については、主催者と慎重に検討予定。</li> </ul> |

○ベトナム民間企業とのオンラインビジネスマッチング開催の検討

- 中部経済産業局と連携し、ベトナム民間企業と東海地区・北陸3県の企業とのビジネスマッチングを通じ、会員企業の同国市場への理解を深めると共に、現地情報収集、新規販路開拓、既存販路強化、現地生産、技術提携等を支援

| 実施内容  | 効果の確認・評価   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「ベトナム・東海・北陸地域オンラインビジネスマッチング」～ものづくり分野&amp;食品・日用品分野～を開催済み。</li> <li>日時：2023年2月21日（火）11:00～16:30<br/>22日（水）13:30～17:45</li> <li>形式：オンライン</li> <li>参加者：日本側4社、ベトナム側7社 計10商談<br/>※当会会員企業は3商談に参加</li> <li>主催：中部経済産業局地域経済部国際課、ベトナム計画投資省外国投資庁、駐日ベトナム大使館、北陸経済連合会/北陸AJEC</li> <li>後援：北陸・ベトナム相互企業進出促進協会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加企業は事前に事業概要、自社製品の強み、並びに商談希望内容等詳細を書面にて商談希望相手先と確認の上、商談に臨んだことから、今後、共同開発も視野に入れた協業案件の検討機会を創出したという点で評価。</li> <li>本ビジネスマッチングを通じて構築した、ベトナム計画投資省外国投資庁、駐日ベトナム大使館投資部との人的ネットワークを活用し、当会会員企業の現地政府機関、関連機関、並びに現地企業訪問の検討に繋ぎたい。</li> </ul> |

○高度外国人材の受入環境、特定技能外国人制度等に関する要望活動

- 政府要望への織り込み
- 時代のニーズにあった要望
- 外国人留学生の就職促進および活用・定着に向けた施策の充実強化
- 地方の人手不足に対応した特定技能外国人の大都市圏等への集中防止及び受入れ分野の拡大

| 実施内容  | 効果の確認・評価  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>企業が必要な労働力を確保し、成長していくためには、留学生を始めとする高度外国人や特定技能外国人の受入が重要であるものの、高度外国人や特定技能外国人は大都市圏に集中している。</li> <li>優秀な外国人に選ばれ、能力が発揮できる企業・社会を形成するための支援について要望。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後とも継続して要望活動を行っていく。</li> </ul> |

以上